

教科の目標

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

評価の観点

・我が国の歴史と政治及び国際社会における我が国の役割に関心を持ち、それを調べることを通して、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情をもつとともに、平和を願う日本人としてともに生きていくことが大切であることの自覚をもつとする。
 ・我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会的事象から学習の問題を見いだして追求・解決し、社会的事象の意味をより広い視野から考え、適切に判断する。
 ・我が国の歴史と政治及び国際理解に関する社会的事象を的確に調査したり、地図や年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用したりするとともに、調べた過程や結果を目的に応じた方法で表現する。
 ・国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方や及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解している。

評価の方法

学習態度 行動観察 発言 発表 作品 ノート テスト

学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント	
前期	日本の歴史 1 米づくりのむらから 古墳のくにへ 2 聖武天皇と奈良の大仏へ 3 源頼朝と鎌倉幕府 4 3人の武将と全国統一 5 徳川家光と江戸幕府 6 江戸の文化をつくりあげた人々 7 明治維新を つくりあげた人々	<ul style="list-style-type: none"> ・米作りのむらが次第にくにへと発展し、やがて大和朝廷により国土が統一されていく様子をとらえる。 ・聖武天皇の大仏づくりを中心に調べ、このころ天皇を中心とした政治が確立したことをとらえる。貴族が力をもち、日本風の文化がおこったことをとらえる。 ・源頼朝の働きを中心に、このころ武士による政治が始まったことをとらえる。室町時代の代表的な建物か絵画を調べ、室町文化が生まれたことをとらえる。 ・各児童が織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の中から一人を選んで調べるとともに、調べたことを相互に伝え合い、戦国の世が統一されていく様子をとらえる。 ・徳川家光の働きを中心に、大名統制や鎖国などについて調べ、江戸時代に身分制度が確立し、武士に寄る政治が安定したことをとらえる。 ・伊能忠敬の働きを調べるとともに、歌舞伎が浮世絵、国学が蘭学のうち、それぞれ一つを選んで調べ、社会が安定するにつれて町人の文化が栄え、新しい学問がおこったことをとらえる。 ・大久保利通、西郷隆盛、木戸孝允らの働きを中心に、明治維新、文明開化大日本帝国憲法発布など、日本の近代化が進められていったころの様子をとらえる。 	
	後期	8 世界に歩み出した日本 9 長く続いた戦争と 人々のくらし 10 新しい日本、 平和な日本へ わたしたちの生活と政治 1 わたしたちの願いを 実現する政治 2 わたしたちのくらしと 日本国憲法 世界の中の日本 1 日本と関係の深い国々 2 世界の平和と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・陸奥宗光の条約改正の働きを中心に、日本の国力が充実するにともなって、国際社会における日本の地位が向上していったことをとらえる。 ・日中戦争から第二次世界大戦に至る歴史について調べ、敗戦によって国民が大きな被害を受けたことや、中国をはじめとする諸外国に大きな損害を与えたことをとらえる。 ・戦後の諸改革やオリンピックの開催について調べ、日本が民主的な国家として出発し、国民生活が向上するとともに国際社会の中で重要な役割をはたすようになったことをとらえる。 ・日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方を理解できるようにし、平和を願う日本人として、世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。 ・結びつきを深める世界の中で、世界の人々と相互に理解を深め合い、平和な国際社会の実現を目指して、我が国が国際社会の中で重要な働きを果たしていることを考え、世界の国々の人々と共に生きていく大切さを自覚する。